

一橋徳川家記念室展示

一橋徳川家資料にみる 文様

日本の人々は、四季折々の風情を愛で、水の流れや雲の動きといった自然、あるいは花や鳥といった動植物を抽象化し、文様として表現してきました。立涌文や菱文のような有職文様、雷文や亀甲文のような幾何学文様、梅や竹、あるいは片輪車などの花鳥や器物に由来した文様。そうした多種多様な文様を、一橋徳川家の資料からご紹介します。

ギャラリートーク

11/2(日)、11/15(土)、12/6(土)
各回 14 時より開始、30 分程度 [要入館券]

11/1_[土] ~ 12/21_[日]

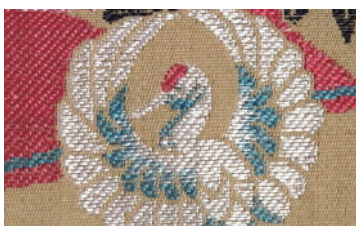
休館日 | 月曜日 (祝日の場合はその翌日) 開館時間 | 9:30 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)
入館料 | 一般 390 円 (330 円)、満 70 歳以上 200 円 (170 円) ※企画展開催期間外は一般 180 円 (150 円)、満 70 歳以上 90 円 (80 円) ※ () 内は 20 名以上の団体料金。
入館無料 | 高校生以下 / 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、指定難病特定医療費受給者証をお持ちの方と付き添いの方 1 名は無料。

◎会期中、予告なく変更する場合があります。

茨城県立歴史館

IBARAKI PREFECTURAL ARCHIVES AND HISTORY MUSEUM

〒310-0034 茨城県水戸市緑町 2-1-15
TEL.029-225-4425 <https://rekishikan-ibk.jp/>



左上より右回りに 赤銅磨地六木瓜形渦巻グリ文罽、赤銅磨地丸形藤手グリ文罽、綾地亀甲丁字唐花打板瑞雲文段唐織 (2 枚)、薄縹綾地八藤文散袴、懐紙挟 (2 枚)、黄綾地鳳凰唐花丸文散袴狩衣、懐紙挟 (3 枚)、紅紗地割菱文散裾、片身替若松秋草蒔絵重硯箱、綾地亀甲丁字唐花打板瑞雲文段唐織